



平成29年7月3日
海上保安庁

アジア、アフリカ等の海上保安機関を対象とした 「海上犯罪取締り」研修の開催について ～ギニア湾沿岸国からナイジェリアが初参加！～

海上保安庁では、7月9日から独立行政法人国際協力機構(JICA)の枠組みのもと、アジア・アフリカ等の海上保安機関の現場指揮官クラスを招へいし、海賊対策をはじめとする海上犯罪取締り能力の向上を目的とした「海上犯罪取締り」研修を開催します。

この研修は、「海賊対策国際会議」(平成12年4月、東京)の中で合意された「アジア海賊対策チャレンジ2000」に基づき、毎年1回我が国において実施するもので、平成13年度の開始から今年で17回目を数え、計25カ国1地域、295名の研修員を受け入れることとなります。

当初は、アジアの海上保安機関職員を対象としていましたが、平成20年度以降は、ソマリア周辺海域における海賊対策強化の必要性が高まったことから、中東、アフリカ諸国を加えており、さらに、今年度は、海賊等事案の頻発するギニア湾沿岸国のうち、ナイジェリアから2名が本研修に初参加します。

この研修期間中、研修員は、約1ヶ月間にわたり東京、神奈川、広島、福岡の海上保安庁の施設等において、海上犯罪取締りに関する知識・技能を学び、帰国後それぞれの国の海上保安業務の発展に役立てていくことが期待されます。

1 日程

平成29年7月9日(日)から8月5日(土)

2 研修員(12ヶ国、21名)

ジブチ(3)、インドネシア(5)、マレーシア(2)、ミクロネシア(1)
ミャンマー(1)、ナイジェリア(2)、パキスタン(1)、フィリピン(1)
セーシェル(1)、スリランカ(2)、東ティモール(1)、ベトナム(1)

3 研修場所

J I C A: JICA 九州国際センター、JICA 東京国際センター
七管区: 第七管区海上保安本部、福岡航空基地
関門海峡海上交通センター
三管区: 横浜海上保安部、横浜海上防災基地
本庁: 海上保安試験研究センター
教育機関: 海上保安大学校

等

4 主な研修カリキュラム

- (1) 海賊、密輸・密航等の国際犯罪の取締り等に関する講義
- (2) 捜査活動に関する実技(鑑識技術等、制圧術)
- (3) 海上保安庁の各施設見学

5 取材可能日程

以下の日程で取材可能です。

実施日	実施場所	内 容
7月19日(水) 10:00~11:00	第七管区海上保安本部 (福岡県北九州市)	第七管区海上保安本部表敬訪問
7月20日(木) 13:45~16:15	海上保安大学校 (広島県呉市)	海上保安大学校施設見学 教育訓練体制の概要説明
7月21日(金) 09:30~16:30	海上保安大学校 (広島県呉市)	国際法講義
7月26日(水) 10:10~10:30	海上保安試験研究センター (東京都立川市)	試験研究センターの 業務概要紹介
7月27日(木) 10:20~16:30	横浜海上防災基地 (神奈川県横浜市)	施設見学、制圧術訓練等
7月31日(月) 09:15~16:45	JICA九州国際センター (福岡県北九州市)	捜査資機材取扱実習
8月1日(木) 14:30~16:00	福岡航空基地 (福岡県福岡市)	福岡航空基地見学

※取材希望の場合は、実施日の2日前までに上記お問合せ先にご連絡ください。

6 研修状況例



海上保安大学校施設見学



捜査資機材取扱実習